

消防、警察によるヤード合同立入検査

5月31日、弥富市内のヤード3か所に対し、海部南部消防組合と愛知県警察による合同立入検査を実施しました。ヤードとは、自動車を海外等に輸出する際、一時的に車両を保管し車体部品の解体や輸出用コンテナに積み込みをする場所です。当消防本部管内では、近年多数のヤードが確認されており、現在も増加しています。また、ヤードの増加に伴ってヤード内での火災や事故等の発生件数が増加しています。

今回は、ヤードで働いている外国人の方を対象に、消防と警察による合同立入検査を実施し、防火・防犯の両面から法令に沿った指導をしました。

合同立入検査の様子

